

第 39 回 日本植物バイオテクノロジー学会（堺）大会の発表者、座長、オーガナイザーの皆様へ

今回の大会は原則オンサイト発表ですがオンライン配信も行うハイブリッド大会ということで、以下を必ずよく読んでください。同時にお送りするプログラム抜粋の内容と一部異なる部分があります。こちらを優先して下さい。

原則として各会場に 2 名の会場係（「会場係」のネームカードを付けています）と学生スタッフ（緑色の T シャツを着ています）がいますので、不明などありましたらお問い合わせ下さい。

<発表者の方へ>

1. 大会が準備するコンピューターを使用して下さい（Windows です）。
2. Windows 11, Office 365 の PowerPoint で適切に動作するファイルを準備して下さい。
3. 画面サイズは 4:3 でも 16:9 でも構いません。容量は 300 MB 以下として下さい。
4. ファイル名は演題番号+姓のローマ字（例：1Xa2Sakai）として下さい。
5. 演題番号を各スライドの右上または左上に表示して下さい（読み取ることが出来ればフォント等は何でも構いません）。
6. 発表者ツールはオンラインの参加者に見えることがあるので、使用しないで下さい。
7. ファイルは原則として9月9日午前9時までに、以下のオンラインフォルダーにアップロードして下さい。他の発表者が内容を見ることはできません。
アップロード先 URL は 8 月 24 日にお送りしたメール「植物バイオテクノロジー学会での発表について」でお知らせしています。不明の場合は、ヘルプデスクにお問い合わせください。
8. 大会会場において USB メモリーによるファイルの提出も受け付けます。ウイルススキャン済みの USB メモリーをお使い下さい。セッション開始 20 分前までに会場係にファイルを提出して下さい。混雑を防ぐためにできるだけ事前にアップロードして下さい。
9. 発表終了後、ファイルは大会が責任を持って消去します。
10. セッション開始の 30 分前から会場係が待機しています。ご自分のファイルが正常に動くことを確認して下さい。
11. PPT ファイルの立上げ、PPT のレーザーポインターの設定までを会場係が行います。発表者は有線マウスとキーボード（主にリターンキー）を使って発表を行って下さい。
12. 一般口頭発表の発表は 10 分、質問応答は 2 分です。8 分で 1 鈴、10 分で 2 鈴、11 分 30 秒で 3 鈴を鳴らします。3 鈴と同時にファイルを閉じて、次の PPT を立ち上げます。
13. 受賞講演の発表時間はプログラムをご覧ください。質疑応答はありません。
14. シンポジウム、ランチョンセミナーの発表時間はオーガナイザーの指示に従って下さい。
15. 発表終了後はアルコールによる手指消毒を行って下さい。
16. 本大会では WEB 要旨集を通じた質疑応答を 9 月 22 日まで可能としています。一般口頭発表とシンポジウムについては発表終了後も WEB 要旨集をチェックして質問に答えて下さい。

<座長の方へ>

1. セッション開始時間の10分前までに会場に入って下さい。
2. 担当演題の5分前には「次座長席」にご着席下さい。
3. 質疑は会場からのみ受け付けてください。必ずマイクを通して質問するよう周知して下さい。
4. 3鈴を11分30秒に鳴らし、次のファイルを立ち上げますのでご了解ください。質疑応答は12分まで可能です。
5. 進行時間は一任しますが、質疑応答の残り時間が少なければ次の演題に進んで下さい。
6. 会場係が質問者のアルコールによる手指消毒を行いますのでご承知おき下さい。

<シンポジウムおよびランチョンセミナーのオーガナイザーの方へ>

1. 担当シンポジウムの開始時刻20分前までに各会場にお入りください。
2. 時間配分は一任しますので、事前にスピーカーと調整しておいてください。
3. 鈴を鳴らすタイミングは会場係に指示して下さい。
4. 質疑は会場からのみ受け付けてください。必ずマイクを通して質問するよう周知して下さい。
5. 会場係が質問者のアルコールによる手指消毒を行いますのでご承知おき下さい。